



海と人・街 リジェネレーション

June 3, 2026

RITSUKO MASAGAKI



都市の暮らしと海をつなぐ 海と人・街リジェネレーション プロジェクト大阪

Contents

- 01 プロジェクトの背景と目的
- 02 フィールドについて
- 03 活動内容
- 04 都市部での発信
- 05 プロジェクトの関係者
- 06 今後の計画

A group of people, mostly men, are walking away from the camera along a dark, pebbly beach. They are wearing waders and various hats, suggesting they are engaged in a cleanup or field work. The beach is bordered by a steep, densely forested hill on the right. In the background, across the water, a large industrial facility with several tall smokestacks is visible under a clear blue sky. The overall scene conveys a sense of environmental stewardship in an urban coastal setting.

都会の海の小さな干潟が
人と海をつなぐ
奇跡のストーリー



プロジェクトの背景

大阪湾のイメージ ってどんなん？

イベント事前アンケート（大阪湾のイメージ）

特にない

あまり思い浮かばない ここが大阪湾と教えてもらったことがないから
お魚とか貝がいっぱいいそう。工場みたいなのがいっぱいある(磯がない) 船が沢山通っている

あまり思い浮かべない

あまり知らない。イベントに行った時にみるところ。海やなあ。
汚いとよく言われるけど、淀ちゃん(クジラ)が迷い込むこともあるので汚いとも言い切れないのかな？
工業用水が流れ込む、綺麗になってきている、南の方は綺麗で魚も色々取れる、

楽しい、きれい、いきものがいっぱいいる

・家の近くにある淀川の先にある海 ・空港やフェリーがある場所 ・あまり綺麗ではないイメージがあるので、子どもを遊ばせるなら兵庫や和歌山まで足を伸ばそうと思ってしまう

一番近い海なので、綺麗で遊ばせられる海であってほしい

同じ大阪でも遠い あまり綺麗ではない

タコや、魚がとれる。大阪関西万博の夢洲の湾 淀川から流れる水がある

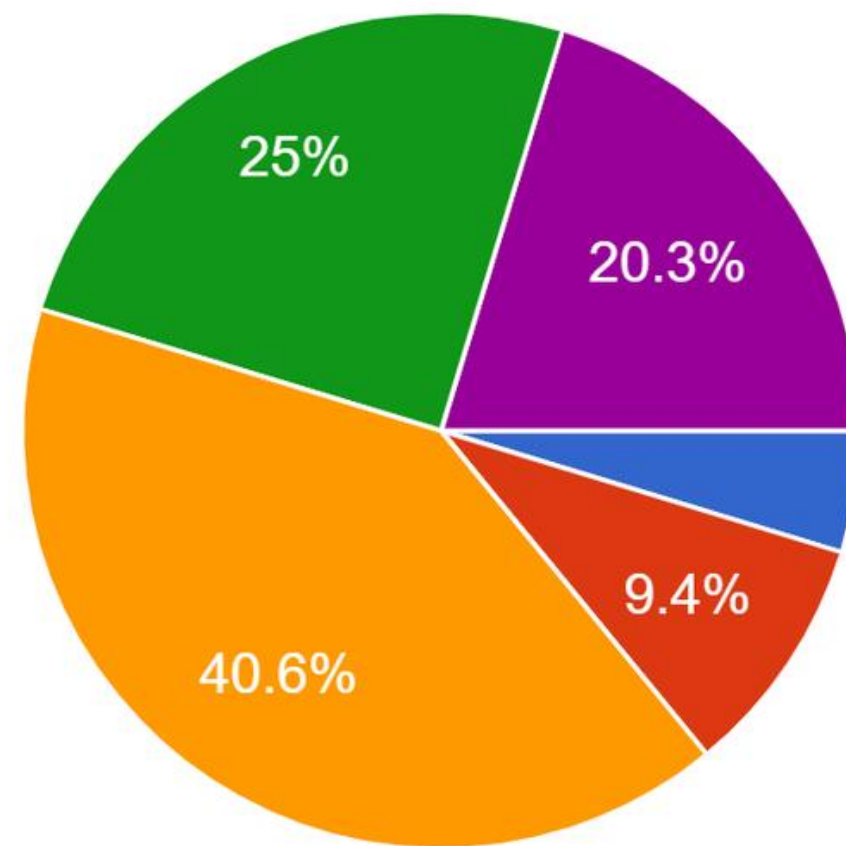
身近な川と繋がっている

・船が通っている ・シーグラスなどのビーチコーミングはできなさそう（砂浜があまりなさそう）
・ゴミがたまっていそう

舞洲に良く行くので、綺麗なイメージがありますが、今朝バスから見える景色は工業地帯でした
近くにあって、イベントや商業施設へ行くついでに港に行くところ。

あなたは日頃、大阪湾に行きますか？（この1年を振り返って）

64 件の回答



- よく行く（月に一度以上行っている）
- たまに行く（数か月に1度は行く程度）
- あまり行かない（年に一度は行く程度）
- ほとんど行かない（ここ数年行っていない）
- 全く行かない（行ったことがない）

約 **86%**

大阪湾に行かない人

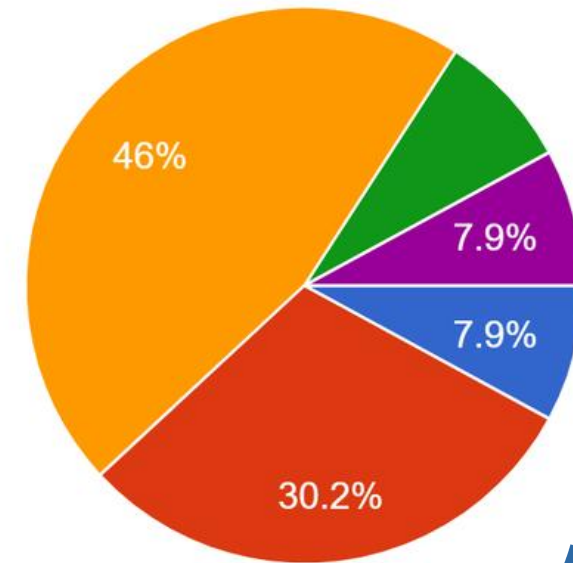
2026年1月11日都市部での発信イベントアンケート結果より

あなたの生活と大阪湾がつながっていることを感じることはありますか？

63 件の回答

約 **62%**

大阪湾とのつながりを感じない



- いつも身近に大阪湾を感じている
- たまに大阪湾を身近に感じることもある
- あまり大阪湾を意識することはない
- ほとんど大阪湾とのつながりを感じない
- まったく大阪湾と自分の生活のつながりを感じない

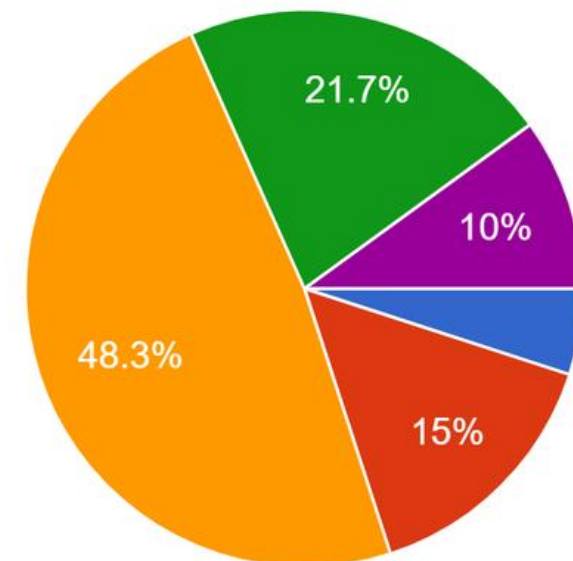
・生活とのつながりが感じにくい

あなたは日ごろ、大阪湾を想い、守るため日頃の生...けたり、保全活動に参加することはありますか？

60 件の回答

約 **80%**

大阪湾を想って行動しない



- いつも大阪湾を身近に感じて保全につながる行動や保全活動をしている
- たまに大阪湾を想い生活したり保全活動に参加したりしている
- あまり大阪湾を想って行動することはない
- ほとんど大阪湾を想って行動することはない
- 大阪湾の保全のために行動することはまったくしない

・大阪湾を想って行動しない

- 99%が人工護岸
- 自然海岸はたった1%



海洋汚染の約 8 割は陸域から発生

- ・プラスチックごみ
 - ・生活、工業廃水
 - ・農薬、化学肥料
- など

大阪湾の現

海との関わりがない



人々が海を想って生活しない



海洋汚染を防げない

プロジェクトの目的

海と人・街リジェネレーションプロジェクト大阪

大阪湾

REGENERATION

都市の暮らし



海と都市生活の関係をつなぎなおし、流域の視点から、
海を想うライフスタイルへの変革を促すことへの挑戦をはじめました

共同実施：大阪府環境保全課 「豊かな大阪湾」の実現をめざす

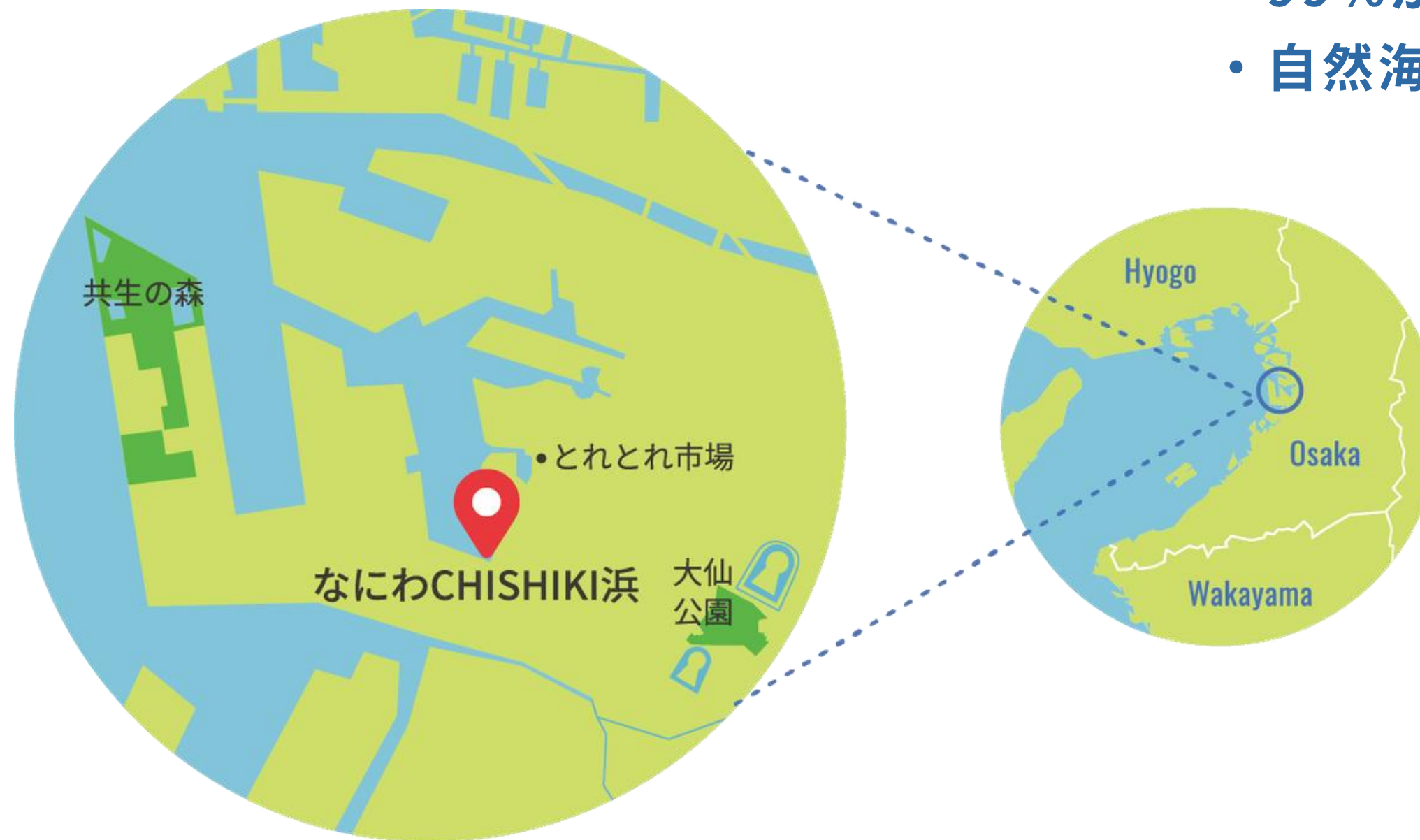
A group of people, mostly men, are walking away from the camera along a dark, pebbly beach. They are wearing waders and various hats, suggesting they are engaged in a cleanup or field activity. The beach is bordered by a steep, densely forested hill on the right. In the background, across the water, a large industrial facility with several tall smokestacks is visible under a clear sky. The overall scene conveys a sense of environmental stewardship in an urban coastal setting.

都会の海の小さな干潟が
人と海をつなぐ
奇跡のストーリー

活動フィールド

episode 01

- 99%が人工護岸
- 自然海岸はたった1%



活動フィールド

episode

01

- ・ 堺泉北南泊地（埋立地の奥の奥の湾奥部）
- ・ 企業の敷地内を通らないと入れない
- ・ 黒っぽい砂とごみが堆積

奇跡 1



活動フィールド

episode

01

- ・ 堺泉北南泊地（埋立地の奥の奥の湾奥部）
- ・ 企業の敷地内を通らないと入れない
- ・ 黒っぽい砂とごみが堆積

奇跡 1

自然干潟があった！

- ・ 令和5年度「令和の里海づくり」モデル事業
- ・ 令和6年度「令和の里海づくり」モデル事業

事業終了

Ridge to Reef (R2R) との出会い

- ・ 令和7年「海と人・街リジェネレーションプロジェクト大阪」に引き継ぐ

実施団体が事業撤退

- ・ 令和8年・・・

- ・ 令和5年度「令和の里海づくり」モデル事業
- ・ 令和6年度「令和の里海づくり」モデル事業

事業終了

Ridge to Reef (R2R) との出会い

- ・ 令和7年「海と人・街リジェネレーションプロジェクト大阪」に引き継ぐ
- ・ 令和8年同プロジェクトを
(一社) あわい環境デザインが引き継ぐ

実施団体が事業撤退



あわい 環境デザイン

海と農、都市と自然、人と地域が交わる“あわい”から、
未来の暮らしを提案します。

私たちは、コミュニティ農園の運営や里海の保全、環境教育を通じて、
都市に暮らす人びとが自然と再びつながるための実践の場を育てています。
小さな体験や学びが、まちの未来をゆるやかに、おだやかに変えていく。
その“はじまり”をつくるあわい環境デザイン。



あい
環境デザイン

人と自然、
地域社会の
”あい“をつなぎ
持続可能な
暮らしをデザイン



活動内容

Activity description



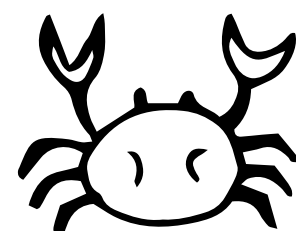
活動の概要

Activity description

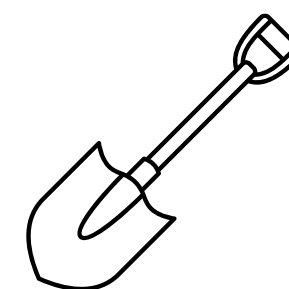
episode 03



環境調査



生きものの調査



環境改善

大学、専門学校、海の専門分野の方々の協力を得て
保全・再生活動を行っています。

活動の概要

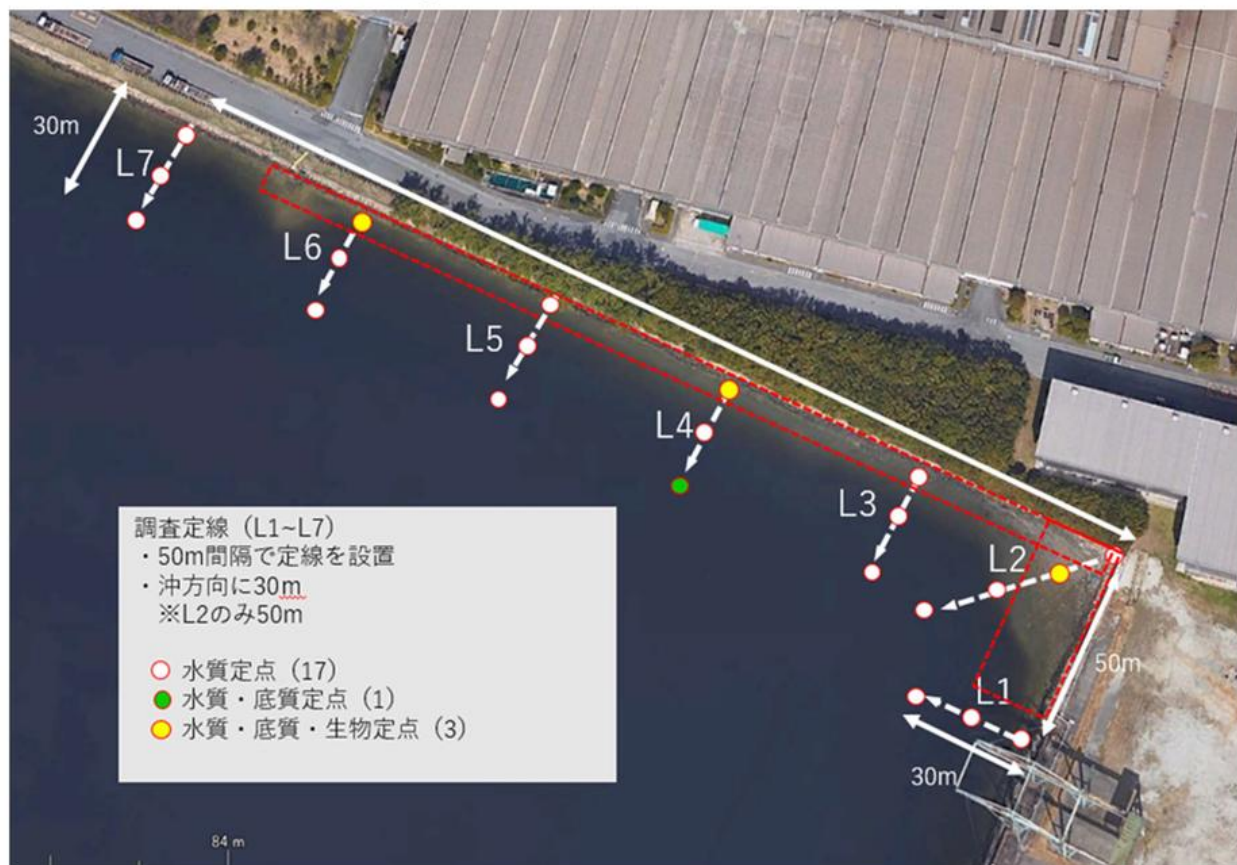
Activity description

03

episode

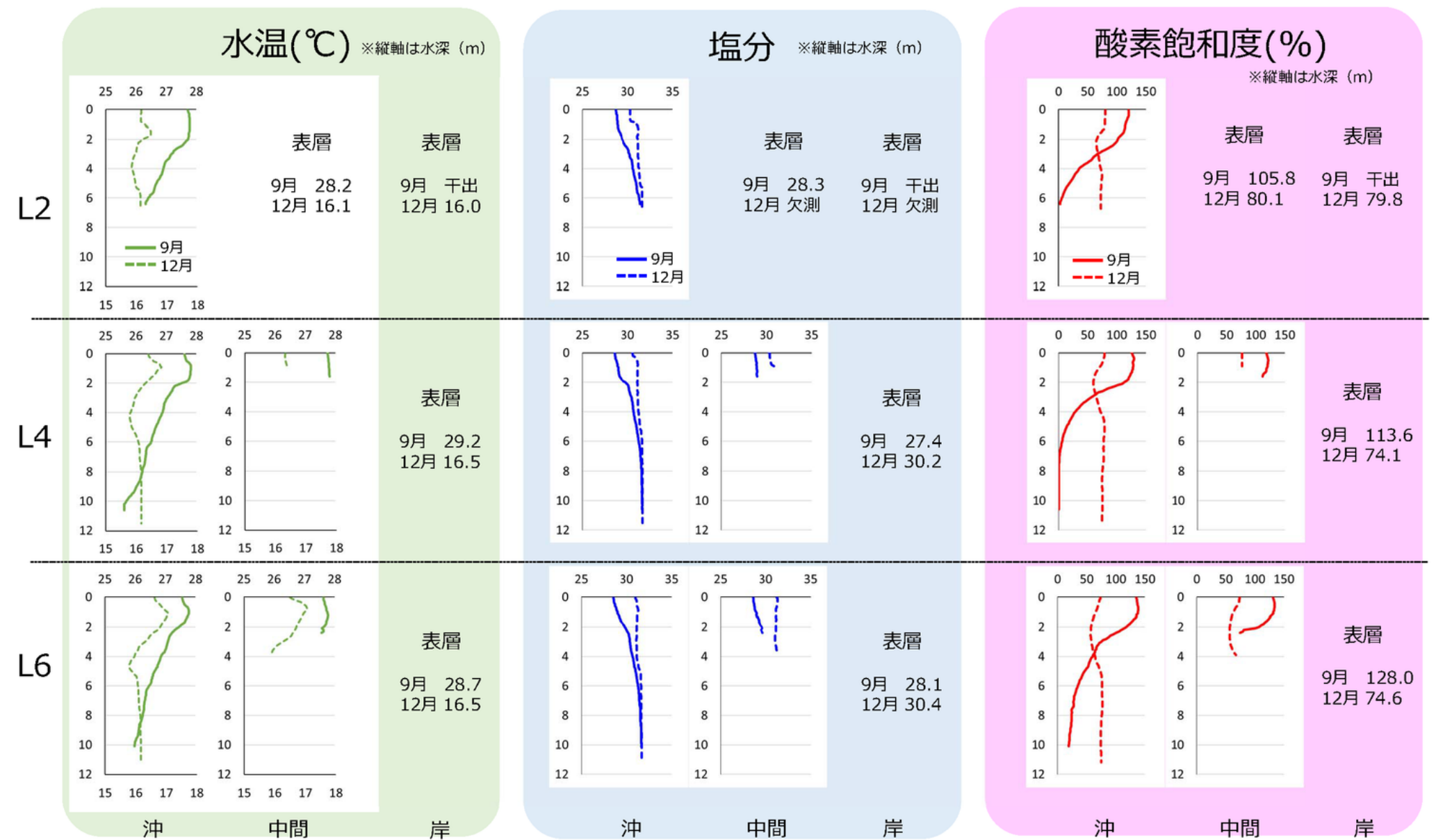


●調査定線 ※7定線；定線上に岸、中間、沖の3定点を設定



●水質調査結果 (水温・塩分・DO)

※水深が極めて浅かった点 (L2中間、L4岸、L6岸) については表層値のみ測定。



※水温図で横軸上は9月、横軸下は12月の値

活動の概要

Activity description

episode 03

干潟の環境

見た目ほどわるくない

奇跡 2

活動の概要

Activity description

episode 03

見つかった生き物

活動の概要

Activity description

episode 03

見つかった生き物

105種類

奇跡 3

※レッドリストで準絶滅危惧種4種（フジテガニ、ウエノドロクダムシ、イソシギ、ゴイサギ）

活動の概要

Activity description



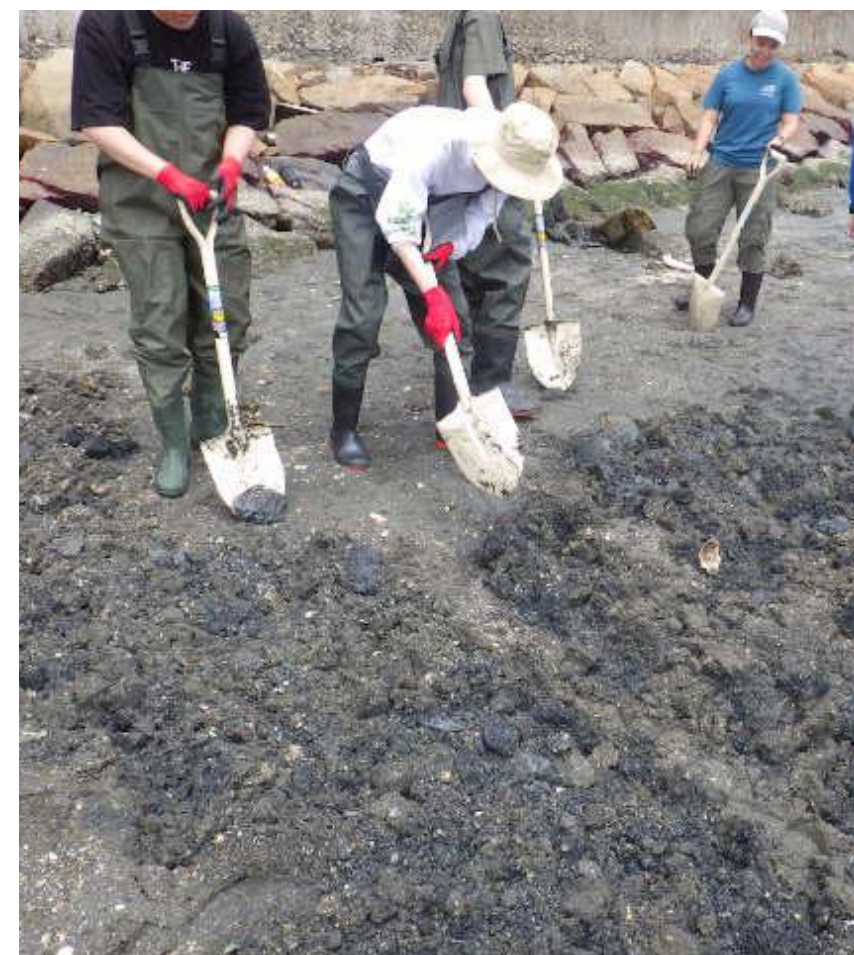
episode 03



網袋設置
アサリの肥満度調査



生き物の隠れ場を創出するた
めの潮だまりを設置



黒っぽい砂浜（硫化物イオン
などの汚染）
耕耘による干潟の環境改善



生きものの住処となる貝藻く
んを設置

活動の概要

Activity description



episode 03



堺市漁業協同組合さん、大阪府漁連さんの協力のもと
清掃活動



初のアマモの植え付け

都会の海の小さな干潟の 3つの奇跡

奇跡 1

自然干潟が
あった！

奇跡 2

そう悪くない
環境だった

奇跡 3

都会の干潟は
生き物の
楽園だった！

LOVE CLEAN OME

Produced by

ZERI JAPAN
Saraya Co., Ltd.
Tokyo Saraya Co., Ltd.

sponsored by

ZERI
ZERI JAPAN

きいて、きいて、吉村知事
～吉村知事と子どもたちの
Talk Session on Osaka Bay with Governor Yosh

大阪府知事

吉村 洋文

Governor of Osaka Prefecture

Yoshimura YOSHIIMURA

大阪府内
見塚市
少年団

Elementary School Students in Osaka Prefecture

MIZUBE Caravan Team

episode

04

海に行かなくても海を体感できる
都市部での発信

share sea information

大阪府内

見塚市

Element

Kats

少年団

nts in Osaka Prefecture

outh Group, Kaizuka

なにわ CHISHIKI浜

知識

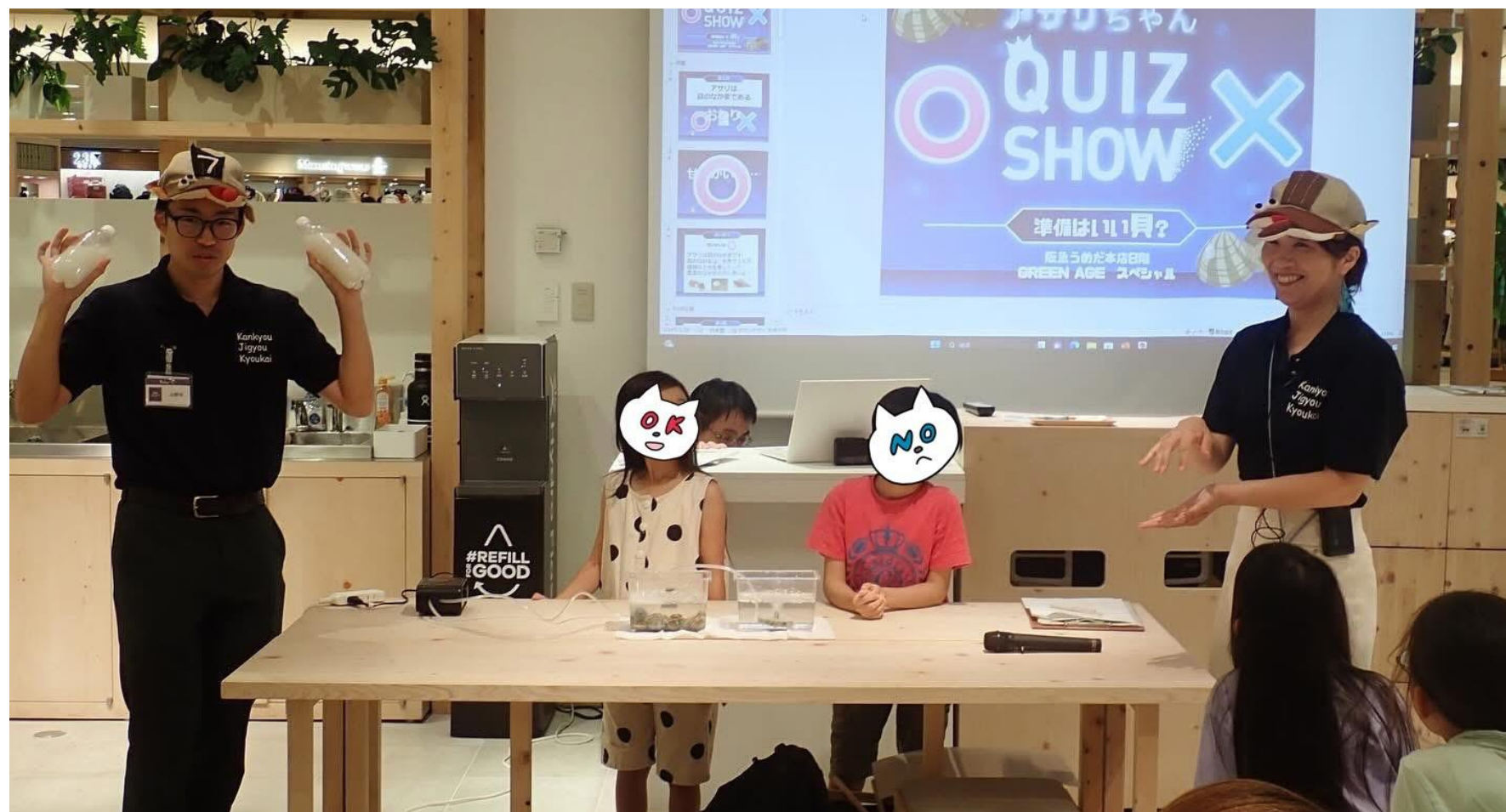
knowledge



千色

various

さまざまな生き物を育み、人々が集い「千の色」が生まれる場所であり、環境学習や保全研究を通じて「知識」が集まる場所です。
そんな思いと未来への希望を込めて、「なにわCHISHIKI浜」と名付けました。



WE LOVE 大阪湾♡生きもののおうちをつくろう！
@阪急うめだ本店 8階 GREEN AGE
アサリちゃんクイズショウ、アサリの浄化実験



貝殻ガーランドで生きもののおうちを
作るワークショップ
ミャクミャク、モズやんも来た



貝藻君の中に入れるガーランドを子どもたちが作成



海に設置して数か月後・・・
カンザシゴカイの巣に（魔界）



おおさかり海応援キャンペーン！大阪湾のお魚でプランクBBQ体験教室
なにわCHISHIKI浜の近くの漁港で水揚げされたチヌを木の板の上に置いて、蒸し焼きに フレンチみかんソースと野菜を添えて



シールアンケートの結果
大阪湾の魚はおいしい！おおさかの里海を応援したい！

近日募集開始

MIZUBE キャラバン

親子で「大阪の水辺」をテーマに体験して学ぶ

大阪の水辺を、もっと身近に。
生きものが息づく「海」、命が生まれる「源流域」、
街なかを流れる「都市河川」——
大阪の水辺をめぐる3つの視点から、
水辺と暮らしのつながりを親子で体感する
3回連続のプログラムを開催!

参加費 無料

対象 大阪府内在住・在学の
小学生の親子
[3回全て参加できる方]

定員 10組20名(大人1名・子ども1名)
※多数の場合抽選

申込締切 7月5日(日)
※締切後、厳正な抽選を行い、
当選者へは7/6(月)に
メールで通知します。

源流域を見に行こう!
奥河内リバートレッキング

第1回 7/29(水)
8:30~16:30

場所 河内長野

どんな生きものがいるかな?
SUPボートで水都探検!

第2回 8/5(水)
9:00~12:30

場所 日本町橋
(大阪市中央区)

大阪湾の生きものに触れる
体験プログラム

第3回 9/6(日)
8:30~13:30

場所 なにわCHISHIKI浜
(堺市北南白地)

主催 あわい環境デザイン
※この事業はpatagonia環境助成会で運営しています。

アクティビティを通じて自然を体験し、大阪の水辺をもっと身近に感じてみませんか?

第1回 7月29日(水)
8:30~16:30

源流域を見に行こう!
奥河内リバートレッキング

場所 河内長野

第2回 8月5日(水)
9:00~12:30

どんな生きものがいるかな?
SUPボートで水都探検!

場所 日本町橋
(大阪市中央区)

第3回 9月6日(日)
8:30~13:30

大阪湾の生きものに触れる
体験プログラム

場所 なにわCHISHIKI浜
(堺市北南白地)



ふれて、学んで、とれる！ミニ大阪湾
@セブンパーク天美
大阪ECO動物海洋専門学校の学生が現場で見たことを伝える企画



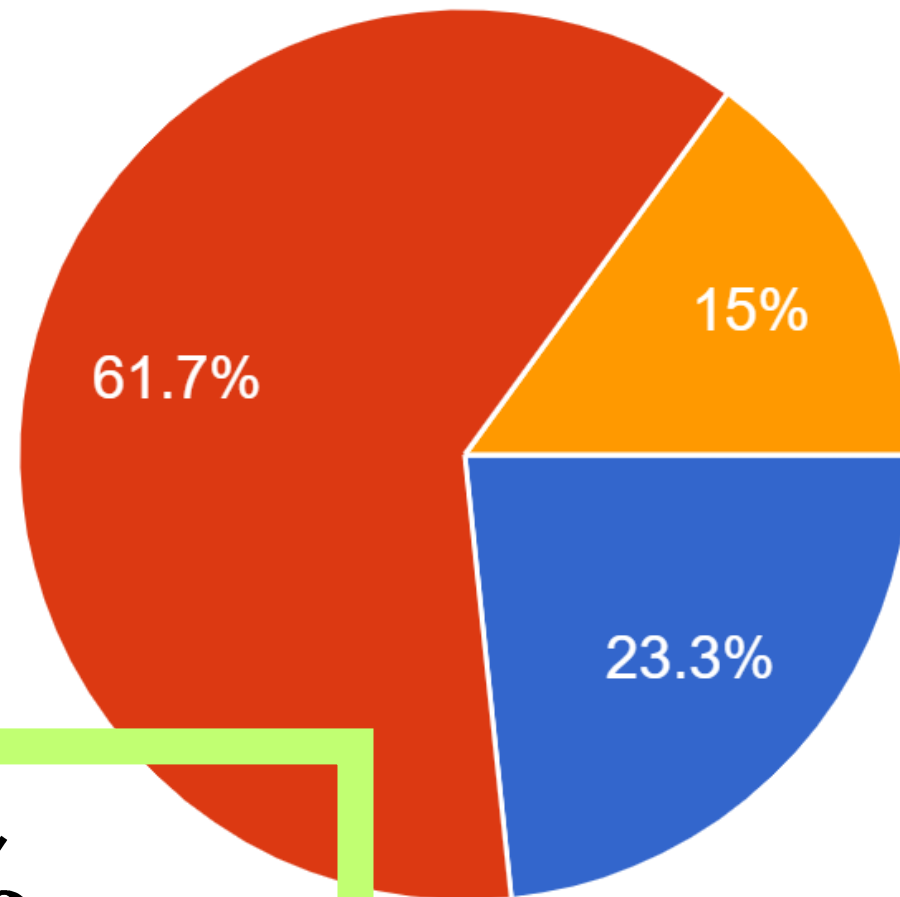
なにわCHISHIKI浜ジオラマづくり
水槽で魚の展示も！

イベント事後アンケート 参加者616人

イベントを通じて

今後大阪湾を想い、守るため日頃の生活に気をつけたり、保全活動に参加したいとおもいますか？

60 件の回答



約 **85%**

大阪湾を想っていい行動したい



約 **80%**

大阪湾を想っていい行動しない

- いつも大阪湾を身近に感じて保全につながる行動や保全活動をしたと思う
- たまに大阪湾を想い生活したり保全活動に参加したいと思う
- あまり大阪湾を想って行動することはない
- ほとんど大阪湾を想って行動することはない
- 大阪湾の保全のために行動することはまったくない

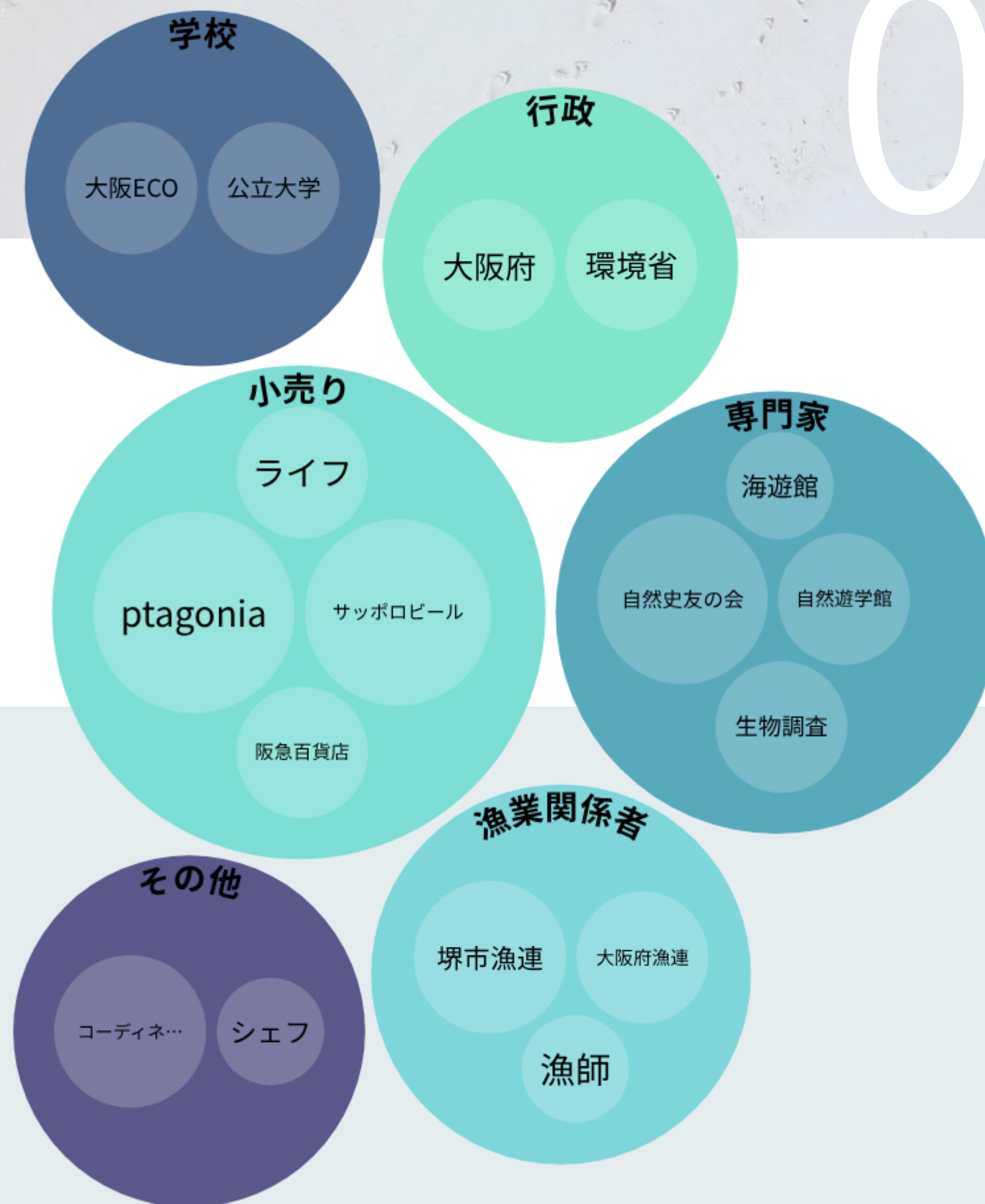
都会の海の小さな干潟が
人と海をつないだ
奇跡のストーリー

プロジェクトにかかわる人々

Survey Results

05

多様な主体が
プロジェクトに参画



海と人・街リジェネレーションプロジェクト大阪

大阪湾

REGENERATION

都市の暮らし

流域の視点から、海と都市生活の関わりをつなぎ直し、
海を想うライフスタイルへの変革を促す。



プロジェクトの活動

自主事業

なにわCHISHIKI浜の再生・保全

MIZUBEキャラバン：流域体験

都市部の里海発信イベント

他主体

流域の様々な活動調査

✓ 陸と海の活動のマッピング

✓ 効果的なアプローチ手法の検証

6/2発売開始

里海づくり応援缶
限定！6000ケース



- なにわCHISHIKI浜に新たな試練が・・・
- ストーリーははじまったばかり

ご清聴ありがとうございました



HPできました



あわい環境デザイン